

10ページで感じる
きもちにいい絵本

「淋」

絵：羽音

文：吉井春樹



考えてみた。
きみがいなくなったらって。









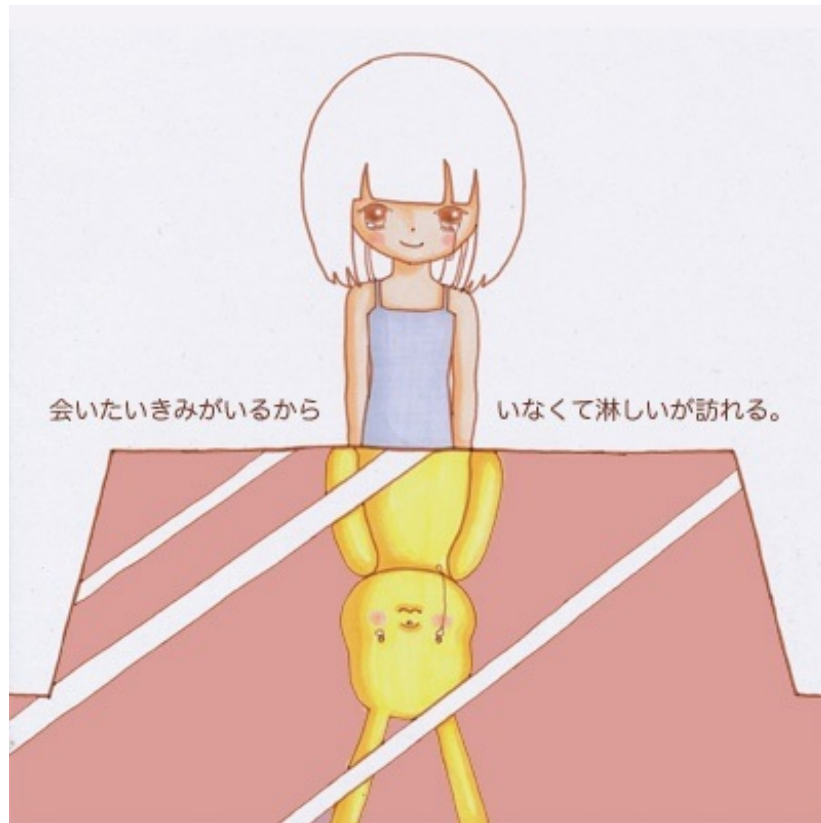
そしたら、会いたくなりました。

一人ぼっちを味わうのは、それはそれはつらいこと。



でも淋しさを感じない毎日はほんとの一人ぼっちな気がして。









いなくなる“もしも”を
考えてみて、はじめてわかった。

淋しいのは愛しいから。
そんな愛しさに出会えた。
それこそが幸せなんだな、て。



あとがき～イラストレーター羽音～

☆プロフィール☆

羽音

神戸芸術工科大学卒業

関西在住

イラストレーター

<http://ameblo.jp/hanonchan333333/>

☆コメント☆

淋しがりやの羽音が「淋」の絵を描かせていただきました☆

大事な人が隣にいない...その時の淋しさと、

そこから変化していく感情を表現しました。

心があつたかくなる、私も大好きなお話です。

読んでくださったすべての方がhappyな気持ちに

なってくれればと思います♪

この作品を最後まで読んでくださって、
そして、ダウンロードまでして下さって、
本当にありがとうございます。

今回は第1回の「悲」
第2回「嬉」に引き続きの第3弾。
今回のテーマは「淋」です。

「淋」しいをテーマにして、つくった文章は、
気持ちの中でも、少しだけ特殊な気持ちです。
だからこそビジュアルで表現するためには、とても繊細な
つくり込みが必要だったろうなと投稿いただいた絵をみても思いました。
そんな少し複雑な淋しさを愛しくさえ思わせてくれるようなイラスト。
自分の中にある淋しさを、悲しさと近づけるのではなくて、
むしろ愛しさや可愛らしさの側へと結びつけてくれたように感じます。
淋しい人は温かい気持ちになれる人も多いと思いますし、
淋しいと思えること自体の素晴らしさを再確認できるような、
そんな機会になってもらえたらと思います。
淋しいきもちの自分に、淋しそうな友達に、
ぜひ、贈ってあげてもらえたら、そんな風に思います。

<プロフィール>

1977年愛媛県生まれ。「コトバ is プレゼント」をコンセプトにしたコピーライター出身の作家、
詩人、エッセイスト。やさしく短い文章で、日常の小さな幸せを表現したメッセージ本を多数
出版。

年代問わず女性に幅広い支持によりロングセラーとなり、某国民的アイドルのラジオ番組や、
韓流スターのライブイベントで朗読されたり、人気モデルのブログで紹介されたりと、
著名人にファンも。毎月発行のCDブックマガジン「月刊うれしぴ」も好評。

■著書「しあわせスイッチ」（ディスカヴァー21）「いつもよりがんばるあなたに。」

「しあわせが、しあわせを、みつけてきた。」（以上アルファポリス）

「好きのしるし」（PHP研究所）などがある。

写真ブランド「SNAP-SHOT」とのコラボ作品として
大手雑貨店で全国展開中のフォトポエムカードも人気が高い。

<http://haruki-yoshii.com>

また、自分らしい言葉力UPトレーニング『コトトレ』主宰として
多くのしあわせな言葉家や作家やアーティストを輩出。

<http://kototore.net>